

支部だより

上田支部

支部長 島田良彦

「上田支部再開の総会」

一昨年の十一月頃、元支部長の菅原幸雄氏が我が家に来て、支部長の菅原静雄氏が亡くなった後を君が受けて続けるようにと、紙袋に入った書類一式を置いていった。六月に学校から同窓会総会の案内を受けて、五十余年ぶりに行ってみた。あの奥山先生が髭と首を振って歩いた通用門からの様子、チャジ先生が手の平イッペの化成肥料と唾を飛ばした畑、まるで面影が無い。秋になったら又集まろうぜと先輩殿が来た。会場は集まり易い地区の防災センターとして当日を迎えたが、人が集まらない。自己紹介からはじめて、御船校長先生から県の方針等含めのご挨拶を頂いた。小松先生からは生徒の活躍等を新聞や資料を見ながら説明を受けた。元支部長の音頭で乾杯に始まり、私が、前段の浦島太郎の話をすると、皆さんも何十年も学校に行ったことが無いと言う。長い間休んでいた支部の再活動であるが、前途多難である。

庄内町合同支部総会報告

幹事長 奥山俊一

庄内町管内八支部合同で「庄内町の集い」を七名(女性十二名)の参加で十二月十九日第四公民館で開催。今まで支部事業は行われず、当初試行錯誤の状態でした。特に会員名簿が無いために、案内分の配布、事業への勧誘まで時間がかかりました。当日は学校長の「庄農の現状と県内高校教育の方向」を聞き、現在の課題に取り組む姿勢や、今後全校で六学級になったときの県教委の再編方針を聞きました。また庄内農業や地域づくりでの庄内農高の果たして来た役割の大きさを参加者一同再認識しました。懇親会は顔見知りの方々ですので和気藹々と盛り上がり、特に校歌は開会と中締め後にハブニングの如くみんなで肩を組んで二回歌いました。来年開催の希望もありますが、まずは同窓会報の配布を如何にするかを優先課題として八支部合同で検討します。

余目支部

佐藤 恵美子

「庄内町同窓会に参加して」

去年の十二月十九日に庄内町として初めての同窓会が開かれました。なぜもと早く実現できなかったのか、不思議でなりません。みんなで歌った校歌、在校時代は



庄内町合同支部総会「庄内町の集い」

何気なく歌っていたものでしたが、この年になると、なんと素晴らしい校歌だろうと思ひ、胸が熱くなるのを覚えました。先輩から後輩まで七十数名が集い、楽しい時間を過ごすことができました。校長先生の講話を聞き、改めて母校の素晴らしさと歴史を感じ、無くすことは許されないと確認した次第です。庄内平野を愛し、農業を愛し、美田を守り、一時は庄内全体を庄農生が守ってきたと言っても過言ではないと思っています。私も以前の校長先生を知っていたがために、評議員を受ける事となった訳ですが、今思えば、受けて良かったと思っております。一期生で入った専攻科は、今はもう無くなつてしまいましたが、そこで学んだ友が庄内一円で活躍しており、私の誇りになっています。農業の厳しい時代ですが、同窓生一人一人の

立谷沢支部

齋藤 明雄

「庄内町の集い」に出席して」

支部長より「庄内町のつどい」の案内をいただき、卒業して三十四年、あらためて歳月の流れの早さに感慨深いものがありました。在学中は、減反政策が始まり、米余りがささやかれるものの、地元では、団体営での基盤整備事業が行われ、水田農業の近代化が一層図られるなど、稲作専業農家の後継者として従事しました。現在は息子が母校を卒業し、後を継いでおり、稲作りに専念出来ることを幸せに思っております。「つどい」では、校長先生から「母校の現状と県内の教育方向」についてお話を聞き、庄農が地域、農業分野で果たしてきた役割、それを引き継いでいる在校生のことを知ることができ、うれしく思いました。少子化、農業を取り巻く環境など不安要素はありますが、「国の大本農の業：」の校歌の通り、これからも県内に於ける人材育成の拠点校として存続していくよ

八幡支部

支部長 後藤 孝之助

う応援したいと思ひます。そして懇親会では、庄内町全域から、支部、卒業年次は異なるものの、それぞれの時代の恩師、同級生の近況、部活など、同窓生ということに話が弾み、「ふる里」に帰ったような気がし、元気をいただいたと思ひます。幹事の皆さん、大変ご苦労様でした。そして、有難うございました。

支部総会を、昨年九月九日町内の温泉施設で開催しました。会員十名と本校から校長先生、阿曾先生に出席頂きました。校長先生から挨拶を頂き、少子高齢化を迎え、庄農でも生徒数が少なく、二十九年度を目途に二学級減らす計画があること、しかし、生徒たちは勉学、クラブ活動に力いっぱい励んでいることなどが話されました。鳥海八幡中学校も合併して六年が経つが、二名の生徒が庄農に進学してくれたとのこと、八幡中学校のときは一人もいなかったで大変うれしく思っています。挨拶のあと総会に入り、事業報告と決算の承認、来年度の事業計画と予算案が承認され、懇親会に入りました。話題は、庄農への進学者の減少理由。今の農業情勢や遠方からの通学の大変さなど話が盛り上がりました。最後に母校の発展を祈願して校歌を合唱し、散会しました。

藤島支部

支部長 成澤 正身

去る六月十九日、支部総会を齋藤隆同窓会長、御船明彦校長先生、事務局長笹原先生に出席をいただき開催しました。提案した全てを原案通り承認いただき、しんの「かど焼き」を肴に懇親会、交流を深め、新年度の活動をスタートしました。計画した研修会、今年度は、近くにいなながら個人では行く機会のない母校の視察を計画し、十一月五日秋の穏やかな天気のもとで笹原先生の案内と、校長先生の同行のもと、まずはハウスの施設園芸、「ラン」の栽培が印象に残りました。川向の農場では、素晴らしい出来の「白菜」、樹上脱渋された3レクラスの「庄内柿」、蜜の多く入った「ふじりんご」、「まめるめ」のもぎ取りもさせていただきました。校舎見学、私どもが在学中の面影はほとんどなかったけれど、すれ違う生徒たちの明るい挨拶声に気持ちも若返る思いでした。新装なった加工室で作られた評判の「庄農うどん」の特注を土産に、反省会では、いただいた柿とりんに芋煮を囲んでの交流。母校「庄農」の存続を願うために、まずは学校を知ることの大事さを痛感し、散会いたしました。

農場だより



畜産

昨年度、繁殖用として黒毛和種「いまる」を導入しました。しばらく育成してから3度目の人工授精でようやく受胎が確認され、3月の分娩に至りました。子牛はしばらく肥育後、出荷します。その他、繁殖豚1頭、採卵鶏20羽、山羊1頭を飼育し生徒の実習教材として管理しています。現在、豚の受胎のため、人工授精に取り組んでいるところです。

稲作

今年度はカキ殻肥料栽培、竹肥料栽培に加え、出穂前にケイ酸カリプレミアを追肥で施し、食味向上に取り組みました。その結果、天候にも恵まれ、全品種において良食味米の生産ができました。特筆すべきは、第9回あなただが選ぶ日本一おいしい米コンテストにおいて高校生部門で「つや姫」が優秀金賞を受賞することができました。今後も良食味米の生産に努め、日本一の米づくりを目指し努力していきたいと思えます。

加工

今年度の加工部門の活動では、これまで念願だった菓子製品の商品化を産直「楽々」様から御協力をいただき、実現することができました。また、今年度の学校祭では、悪天候にもかかわらず、多くの皆様から「うどん」や「ユーピス」をご



野菜

購入いただきました。今後は、さらに地域の方々へ加工品を届けられるよう生徒とともに努力していきたいと思えます。



草花

今年度は気温の高い日が多く、特に、12月は、暖かく、シクラメン、プリムラ類などの鉢ものは、一ヶ月程度開花が早まりました。また、福祉施設での植え付け作業や藤島歴史公園の花壇作りに参加し、地域の方々と交流を深めることができました。

果樹

今年の果樹栽培は、例年続いている真夏の小雨等、天候不順ではありましたが、オウトウとブドウなどの大幅収量増により、過去最高の売上になりました。リンゴも隔年結果の谷間の年ですが、ある程度の着果数を確保し、減収を抑えることが出来ました。課題としては、リンゴをはじめとする着色促進と、労働力のピークを分散させることです。ありがとうございました。

同窓会役員名簿

顧問	新田嘉一	保科直士	土井 博
会長	齋藤 隆		
副会長	阿部昇司		
理事	鬼島光子	御船明彦	
	今野慎太郎	成澤正身	
	板垣允俊	阿曾千一	
	菅原榮一	齋藤道丸(逝去)	
	榎本五郎治		
監事	荒澤瑞男	長南久良	
評議員	石川敦子		
	石井善兵衛	佐藤 才	
	佐藤三吉	佐藤陽一	
	佐藤恵美子	佐藤弥一	
	相馬一広	高橋 勉	
	川村章一	池田源衛	
支部長			
朝日	佐藤芳彌	佐藤勝昭	
	佐藤幸男		
楢引	荒澤瑞男		
羽黒	岡部彌一郎	榎本勝雄	
渡部	一		
三川	小林茂吉	遠渡伸雄	
	五十嵐慶一		
藤島	成澤正身	鈴木紀生	
	齋藤光弘	百瀬 一男	
	高橋徳雄		
立川	長南 等	吉宮 茂	
余目	日下部市雄		
	土屋真佐見	奥山俊一	
	國井和雄	若松功雄	
	鈴木寛輝		
温海	本間英機		
鶴岡	若公謙一		
	石井善兵衛	三浦多一	
	小林達夫	大滝常雄	
工藤啓市	藤原 潔		
五十嵐甚太郎	三浦伸一		
瀬尾正輔	後藤 勇		
酒田	松本文雄	佐藤幸喜	
	大川 巖	齋藤成司	
	前田信也	齋藤光雄	
	佐藤 守	川村章一	
	後藤 聡	島田良彦	
	大場広弥		
松山	佐々木知夫		
平田	中瀬義秋		
八幡	後藤孝之助		
遊佐	池田源衛		
山形	深井尚也		
新潟	富樫 由		
北海道	石川 清		
首都圏			
事務局	加藤正彦	笹原俊明	
	小松治	長南優	成澤幸喜
	叶野哲	渡部正宇	齋藤浩紀
	佐竹正浩	佐藤政宏	
	阿曾文平	土門涉	荒井真紀
本間 良	衛(旧職員)		
鈴木 慎	次(旧職員)		
田中 稔	一(旧職員)		
佐藤 正	幸(旧職員)		
後藤 新	吾(西荒瀬)		
齋藤 道	新(西荒瀬)		
大滝 良	三(東郷)		
金子 正	三(西荒瀬)		
佐藤 肇	(旧職員)		
加藤 稔	(東栄)		

謹んで弔意を表します(敬称略)